

【科目名】 医療行動科学		【担当教員】 若松 直樹
【授業区分】 教養分野(人文科学)	【授業コード】 1-01-0040-0-2	(メールアドレス) wakamatsu@nur05.onmicrosoft.com
【開講時期】 1・2 年次 前期	【選択必修】 選択	(オフィスアワー)
【単位数】 2 単位	【コマ数】 15 コマ	11:00～16:00 (月曜日～木曜日)
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) テキストとなるプリントを配布しますが、「講義ノート」を作成し、多くの情報を記録することを心がけること。		
【講義概要】 (目的) 人間の行動の背景にあるさまざまな法則を科学的に理解する「行動科学」の基礎を身につける。とりわけ、健康を増進し、疾病からの回復を目的とする医療における患者や家族・医療従事者の人間行動特性を多角的に考察し、医療の行動目的の促進を目指す。 (方法) 行動科学は学際性の高い学問であることを踏まえつつ、基礎・臨床の心理学、精神医学、社会学などにおける個人や集団の行動理解のポイントを理解する。		
【一般教育目標(GIO)】 人間の行動を科学的に理解することを通して、医療者としての態度を高める。 【行動目標(SBO)】 各講義のテーマに対して主体的に問題意識をもつことができる。 各講義で説明したトピックについて説明することができる。		
【教科書・リザーブドブック】 テキストとなるプリントを配布する。		
【参考書】 特になし。		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 期末試験を実施する。		

平成 26-28 年度以降入学者用

【達成度評価】		試験	小 テスト	レポ ート	成果 発表	実技	ポ ー ト フ ォ リ オ	その他	合計
総合評価割合		90	0	0	0	0	0	10	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	90	0	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造の力	0	0	0	0	0	0	0	0
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	10	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容		授業の 運営方法		学修課題(予習・ 復習)		時間 (分)		
1	イントロダクション 行動科学とはどのような学問領域である か？		講義		講義ノートの完成		45		
2	行動科学と医療：目的・課題・方法 行動科学を医療と結びつけることの意義		講義		講義ノートの完成		45		
3	動機 人間の行動は何に支えられているのか		講義		講義ノートの完成		45		
4	自己と他者の理解・役割 相手を理解するとは何か？医療のなかで相 手を理解することについて		講義		講義ノートの完成		45		
5	心の発達と課題 人間の成長に必要なさまざまな条件につい て		講義		講義ノートの完成		45		
6	パーソナリティ 人柄はどのようにして生まれるのか？		講義		講義ノートの完成		45		
7	医療者としての適性 対人援助を役割とするために必要なこと		講義		講義ノートの完成		45		
8	医療者のストレス 援助者自身の健康管理について		講義		講義ノートの完成		45		
9	医療場面での性別役割化 対人援助にみられやすい性別役割について		講義		講義ノートの完成		45		
10	心理学的アプローチによる医療事故防止 人間は誤りをおこす存在であることを知る		講義		講義ノートの完成		45		
11	医療者の教育 対人援助の職業人育成に必要なこと		講義		講義ノートの完成		45		
12	医療場面における研究と倫理的配慮 研究を進める上で必要な約束事について		講義		講義ノートの完成		45		

平成 26-28 年度以降入学者用

13	社会と家族の変容 その時代の影響を受ける集団について	講義	講義ノートの完成	45
14	患者とのコミュニケーション 相手訴えを正確に引き出し円滑な関係を築くために	講義	講義ノートの完成	45
15	まとめ	講義	講義ノートの完成	45

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。